

2023年4月10日

報道関係者各位

バイク未来総研

バイク未来総研、『リセール・プライス』ランキングを発表 『ホンダ・X-ADV』が首位獲得！

対象期間 2022年12月～2023年2月

バイク業界のよりよい未来を考え、新しい価値を調査し、分析した内容を広く社会に発信することを目的に活動を行うバイク未来総研(所在地:東京都港区、運営:Bike Life Lab supported by バイク王)は、2022年12月～2023年2月の期間を対象に、「再び売却した際、高値の付くバイク」＝「“リセール・プライス”の高いバイク」上位10車種を『Bike Life Lab supported by バイク王』に発表いたしました。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。44回目となる今回は、「ホンダ・X-ADV」が首位に輝きました。

◇ 『ホンダ・X-ADV』が首位獲得！



※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「[バイク未来総研調べ \(https://www.8190.jp/bikelifelab/notes/bikefuture/resale-ranking/\)](https://www.8190.jp/bikelifelab/notes/bikefuture/resale-ranking/)」とご明記ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社バイク王&カンパニー 東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F
バイク未来総研 担当：佐々木、赤松
TEL:03-6803-8866 E-mail: bikelife_lab@8190.co.jp

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・X-ADV	105.26 Pt
2	ホンダ・ダックス 125	101.25 Pt
3	カワサキ・Z900RS	99.73 Pt
4	ヤマハ・Ténéré700	99.66 Pt
5	ホンダ・GB350	97.13 Pt
6	カワサキ・Z650RS	96.73 Pt
7	ホンダ・NC750X Dual Clutch Transmission	96.16 Pt
8	ホンダ・GB350 S	94.54 Pt
9	ホンダ・モンキー125	94.08 Pt
10	ホンダ・クロスカブ 110	90.11 Pt

◇対象期間 2022 年 12 月～2023 年 2 月

44 回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ホンダ・X-ADV』が首位に輝きました。

ホンダ・X-ADV は 2017 年に初登場したアドベンチャータイプのバイクで、オートマチック機構の Dual Clutch Transmission を採用した NC750X 系のエンジンを搭載しています。

足回りにはスポークホイールや倒立フォークを採用するなど唯一無二の外観から従来のビッグスクーターの概念を覆し、大きな注目を集めたバイクです。

2021 年にはフルモデルチェンジが行われ、ユーロ 5 の排気ガス規制に適合するとともにフレームから新設計が行われるとともに様々な新機能が搭載されました。

スロットルバイワイヤ等の電子制御システムの導入とあわせ、「Honda Smartphone Voice Control system」では、バイクをスマートフォンと Bluetooth で接続してハンドルから手を離さずにナビゲーション・電話・音楽などのアプリケーションを運転操作を妨げることなく音声で操作を可能とします。

この他にも日本のバイクブランドで初めてデイトタイムランニングライト機能を搭載するなど最先端技術が数多く採用されています。

市街地・高速道路・未舗装路などの場面を選ばず安定して快適に走ることができることからキャンプツーリングとの相性も良く、近年大きな注目を集めているバイクです。

■ 排気量別ランキング上位 5 位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・ダックス 125	101.25 Pt
2	ホンダ・モンキー125	94.08 Pt
3	ホンダ・クロスカブ 110	90.11 Pt
4	ホンダ・スーパーカブ C125	85.76 Pt
5	ホンダ・CT125 ハンターカブ	82.94 Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・レブル 250	89.37 Pt
2	ホンダ・PCX160	85.87 Pt
3	ホンダ・CRF250L	83.02 Pt
4	ホンダ・レブル 250 S	80.28 Pt
5	カワサキ・Ninja ZX-25R	78.16 Pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・GB350	97.13 Pt
2	ホンダ・GB350 S	94.54 Pt
3	ホンダ・400X	74.96 Pt
4	ホンダ・CBR400R	73.00 Pt
5	カワサキ・Ninja 400	66.55 Pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・X-ADV	105.26 Pt
2	カワサキ・Z900RS	99.73 Pt
3	ヤマハ・Ténéré700	99.66 Pt
4	カワサキ・Z650RS	96.73 Pt
5	ホンダ・NC750X Dual Clutch Transmission	96.16 Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2023年4月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、200万台以上の累計取扱台数を誇る『バイク王』のデータを基に、Bike Life Labが独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2023年4月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2023年4月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、Bike Life Lab独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

【バイク未来総研 について】

2022年3月にバイク業界のよりよい未来を考え、新しい価値を調査し、分析した内容を広く社会に発信することを目的に発足しました。

国内外のレースで輝かしい成績を挙げ現在はモータージャーナリストのほか多方面で活躍する宮城光氏を所長に向かえ、バイクライフの楽しさやバイク王が持つバイクに関する独自データ分析などの情報発信に加え、ライダーやバイク業界がこれから描く「未来」に切り込んだコンテンツを順次発信します。

■ バイク未来総研所長 宮城光のココがポイント

今回は大きな動きを感じる結果となっていますね。

ホンダ・X-ADV がトップに躍り出るとは少々驚かせる事になりましたが、発売から7年目となった現在、600~1300cc クラスのアドヴェンチャー人気がここにも来た感じがしますね。

特に、原付二種で安定した人気のハンターカブやクロスカブなども、アウトドア人気に乗じて多くのニーズに答える形でマーケットでも引き合いが多いところへ、アドヴェンチャーイメージの、ホンダ・X-ADV に注目も集まる事になったのでしょうか。また、ヤマハ・テネレ 700 も発売から3年目、外車メーカーに多い1000cc を超える排気量を躊躇うライダーにミドルアドヴェンチャーの魅力が漸く伝わって来た事も伺えます。

